

平成23年度第2回看護学部教授会議事録

開催場所	大会議室	開催日時	平成23年4月27日(水) 10:30~12:25
出席者	(学部長) 吉田俊子 (教授) 安齋由貴子, 伊藤ひろ子, 遠藤芳子, 小野幸子, 荻部明彦, 桑名佳代子, 佐々木久美子, 塩野悦子, 関戸好子, 高橋方子, 高橋みや子, 武田淳子, 長澤治夫, 中塚晴夫, 原玲子, 原田光子, 真覚健, 峯岸直子, 山田嘉明 (准教授) 桂晶子, 佐藤ゆか, 鹿野裕美, 菅原よしえ, 竹本由香里, 只浦寛子, 萩原潤, 山岸利次 (講師) 阿部幹佳 (助教) 阿部智美, 井口巴, 大池真樹, 大沼珠美, 佐藤大介, 澤口利絵, 菅原亜希, 鈴木敦子, 相馬衣都, 田中美江, 長岡芳久, 名古屋紘子, 西村亜希子, 山田志枝, 渡邊志乃 (54名中出席者44名) 事務部学務課 佐々木GL, 大津主任主査		
欠席者	徳永恵子, MargaretChang, 弓谷行宏, 河原畑尚美, 北岡晃子, 高橋和子, 岩岡美樹, 小松幸恵, 橋本翼, 平尾由美子		(職位別50音順, 敬称略)
署名人	吉田俊子, 桑名佳代子		
議 事 内 容			
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 議事録署名人の指名について 本教授会議事録署名人として桑名佳代子教授が指名された。</p> <p>(2) 審議事項</p> <p>①学部各委員会提出事項 [教務委員会]</p> <p>○平成24年度入学編入生のカリキュラムについて 教職課程においては, 平成22年度入学生から「教職実践演習(養護教諭)」が必修となっており, 編入生は平成24年以降入学者がこの教育課程の対象となるが, 看護学部の現行カリキュラムが対象となる平成24年度及び25年度入学編入生については, 次のとおり養護教諭1種免許資格の取得はできないとすることの提案がなされ, 審議の結果, 物理的に同免許状の取得は困難と認められ, 今後学生募集及び学生指導にあたっては, これに沿った内容とすることとされた。 なお, 現在看護学部では平成24年度入学生から保健師課程を選択制とすることが検討されていることから, 選択制となった場合, 平成26年度以降入学の編入生については, 本件の対象とはならないが, 卒業要件単位数等, 詳細については今後検討することとされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在, 養護実習については, 基本的に後期授業開始前の8月から9月にかけての3週間で実施しているが, 編入生は9月に地域看護学実習(3週間)が行われるため, 止むを得ず地域看護学実習終了後から10月にかけて行っている。 教職実践演習(養護教諭)の配当時期は4年次後期で教育実習後に履修することとされており, 2単位の演習で内容的にも密度の濃いものであり, 保健師・看護師国家試験や卒業研究等を控えた本学部の場合, 学生への負担といった観点から開講期の配慮が必要であること。 開講期を考慮した場合, 9月に養護実習を終えた後, 10月から集中的に教職実践演習(養護教諭)の履修とする必要があること。 養護実習, 地域看護実習とも実習期間を変更するということの検討もされたが, 実習先の都合, 本学の他の実習時期及び必修科目開講時期との関係で, 何れも現在の実習時期を変更することはできないこと。 以上, 編入生は9月の地域看護学実習との時期的重複から10月までの養護実習は不可能であり, また養護実習を履修せずに10月からの教職実践演習(養護教諭)は履修できないことから, 結果的に養護教諭1種免許状の取得は困難であること。 <p>[入学試験委員会]</p> <p>○平成24年度入学生募集要項(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AO入試(社会人枠) 入学試験委員長である真覚教授から, 募集要項案の提案がなされ, 平成24年度入学生からを対象にカリキュラム変更を検討していることから, 「卒業時取得資格」について, 特に意見が求められたが, 今後の学内におけるカリキュラム検討状況によって修正が必要な場合は, 入学試験委員会及び学部長に一任することで, 基本的に原案どおり承認された。 ・編入学(一般選抜・AO入試) 真覚入学試験委員長から, 募集要項案の提案がなされ, 提案にあたっては, 教務委員会から提案のあった上記審議事項の審議結果より, 「卒業時取得資格」のうち「養護教諭1種免許状」を削除する旨の説明がなされ, 審議の結果, 提案どおり承認された。 			

	<p>②その他 特になし</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>①教育研究審議会報告 吉田学部長から、次の教育研究審議会での審議事項等についての報告がなされた。 ・平成23年度第1回教育研究審議会（4月20日開催）</p> <p>②危機対策本部会議報告 吉田学部長から、次の危機対策本部会議での審議事項等についての報告がなされた。 ・第15回危機対策本部会議（4月6日開催） ・第16回危機対策本部会議（4月8日開催） ・第17回危機対策本部会議（4月20日開催）</p> <p>③全学委員会等報告</p> <p>[学習奨励基金実施部会議] 吉田学部長から、4月20日に開催された学習奨励基金実施本部会議について、東日本大震災被災者修学支援を加えるなど、プログラムの一部見直し等について報告がなされた。 なお、来年度のプログラムの内容について各学部に対して意見を求められていること、運営会議では被災に関する支援が単年度では不十分であるという意見があったこと等の説明がなされた上、有効な使途についての意見があれば学部長あてに提案するよう周知がなされた。</p> <p>[学生生活委員会] 学生生活委員会委員の佐々木久美子教授から、東日本大震災による被災学生支援に関して、次のとおり資料が示され周知された。 ・震災に伴う学生相談室の今後の対応について ・震災による被災状況調査票（オリエンテーション時に配布） ・授業料免除、分割納付、納付猶予等、被災世帯・学生への経済支援制度を記載した書面（オリエンテーション時に配布） ・被災世帯・学生を配布対象とした平成23年度授業料の納付免除等の申請手続きに関する書面</p> <p>[学務入試委員会] 学務入試委員会委員の原玲子教授から、学務入試委員会で決定した学年暦が示され、授業回数、オープンキャンパス開催期日、補講期間及び教職員の夏季休業日等について説明がなされた。 なお、吉田学部長から9月14日（水）16時以降に看護学研究科と合同でのFD研修会を企画していることの説明がなされた。</p> <p>④運営会議報告 前回教授会以降に開催された運営会議の審議事項等について次のとおり報告がなされた。 ○平成23年度第2回運営会議（4月13日開催） ・災害ボランティアの授業単位の読替え科目について 基礎ゼミ：非日常的な今こそ基礎ゼミが重要と考えられ、大学生活に馴染むという意味からも基本的に従来どおりとするが、テーマとして選択することは可能とすること。 総合実習：基本的に従来どおりとし、一斉にボランティア活動することはしないが、各教員の判断により可能とすること。 災害看護プログラム：今後関連付けすることとし、災害看護プロジェクトのメンバー構成・方向性については、震災の発生を受け、改めて検討することとし、検討会議は教務委員長が招集すること。 ・前期定期試験の受験資格（授業出席回数）について 定期試験を受験できる最低の授業出席回数は授業13回のうち3分の2とし、5回欠席の場合は受験資格を喪失するものであること。 ・その他 教員のボランティア活動について、授業、委員会等、大学活動としての本務を優先することを周知徹底することとされたこと。 ○平成23年度第3回運営会議（4月25日開催） ・基礎ゼミグループ編成、AO入試・編入生の平成24年度入学生募集要項、教職実践演習に伴う編入生のカリキュラムについて教授会に諮ることとしたこと。</p> <p>⑤学部各委員会報告</p> <p>[学生委員会] ○震災による学生の被害状況の確認を行った結果について報告がなされた。 ○新入生オリエンテーションの次第、日程及び説明内容等についての報告がなされた。</p> <p>[教務委員会]</p>
--	--

- 授業回数変更に伴う基礎ゼミの日程変更及びグループ編成についての報告がなされた。
- 総合実習の担当教員体制及び領域希望カードについて説明がなされた。
- 卒業研究オリエンテーション資料についての説明がなされた。
- 前期履修登録の手引きが示され、日程等の説明がなされた。
- 留年者の再履修科目に関する対応方法についての資料が示され、オリエンテーション後に個別に指導することの説明がなされた。

【キャリア開発委員会】

- キャリアガイダンス、国家試験の模擬試験等、キャリア開発委員会の平成23年度行事予定についての説明がなされた。

【保健委員会】

- 平成22年度における看護学部予防接種結果について説明がなされた。
- 平成23年度看護学部予防接種日程についての説明がなされた。

【研究・紀要委員会】

- 震災における看護学部の活動記録を紀要に盛り込むことを検討していること、またこのために各自の活動を記録しておくよう周知がなされた。

【実習委員会】

- 補講期間中であるが、8月10日（水）に3年生を対象とした領域別実習オリエンテーションを実施することの周知がなされた。

⑥カリキュラム変更に係る検討状況報告

塩野教授からカリキュラム変更に伴うプロジェクト会議の開催状況、カリキュラム変更案等について、資料により報告がなされた。

⑦その他

- ベストティーチャー賞候補者について、長澤教授が平成22年度の授業評価等を参考として候補者を絞り込み、運営会議において選定し推薦することの説明がなされた。
- 事務部が作成した余震に備えた学生配布資料が示された。
なお、このことに関連し、講義室のモニターテレビを液晶テレビとし軽量化することや床面への避難誘導経路の表示といった意見が出席者から述べられた。

(4) その他

- 吉田学部長から、震災により亡くなった学生宅への弔問等についての報告がなされた。
- 吉田学部長から、被災学生への支援の一つとして、TA制度の活用を図るよう協力が求められた。

以上

議事録署名人

氏名 _____ 印 _____

氏名 _____ 印 _____